

会報

◇奈良大学史学会総会

五月三十一日(土)、本学において、第二十一回奈良大学史学会総会を行った。二〇〇二年度の決算・会計監査報告及び事業報告が行われ、ついで二〇〇三年度の役員人事案、事業計画案とそれに伴う予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認された。

二〇〇三年度の役員は以下の通り。

▽会長

丸山 幸彦

▽副会長

守山 記生

▽教員委員

(編集)

菅野 正

(会計)

青木 芳夫

(庶務・交換)

森田 憲司

(監査)

鎌田 道隆

▽学生委員

(代表)

清水 勇樹

(副代表)

桑本健太郎

(広報・総務局長)

鈴木 禎匡

(青垣祭企画実行局長)

玉野 将史

(四回生委員)

岡本 隆浩

荻野衣梨子

川崎 雄介

北田真知子

木下ちひろ

木元 雅也

窪田 紘之

河野 里香

小霜 浩司

人見 麻生

松岡 圭佑

(三回生委員)

松井 勇治

広瀬 茜

(二回生委員)

石谷林太郎

塩田 篤司

白井巳古都

鷹野 義明

丹所 宏介

富田 直美

堀 仁美

三浦由紀子

宮本真理子

山里 慎一

(一回生委員)

會田 朋子

東 裕希

石野 祐也

大倉 俊美

川崎 恵美

清水 智也

鈴木 裕美

高羽 将人

田中 美穂

永門 和也

西野 晶洋

西谷 春佳

菱田 真由

福本 真衣

間島多佳子

宮崎 琢也

◇特別講義

五月三十一日(土)、史学会総会に引き続き、特別講義が行われた。講師・演題は以下の通り。

佐藤 宗諄氏(奈良女子大学名誉教授)

「律令制と天皇」

近藤 治氏（佛教大学教授）

「二〇世紀初頭のインドと中国」

◇史学体験ツアー

毎年恒例となった史学体験ツアーは、本年度より広報・総務局が中心となり企画され、六月七日（土）、「きぬかけの路散策ツアー」が実施され、金閣寺と竜安寺を散策した。本学科の学生の参加が多く、好評であった。ついで、十一月十六日（日）には「みんなで歩こう飛鳥体験ツアー」が実施され、高松塚古墳と石舞台古墳と飛鳥寺を散策し、参加者の好評を得た。

◇「史学会会報」等の発行

奈良大学史学会の活動の普及を目的として、「史学会会報」を二ヶ月に一回発行し、史学会の企画案内、各地の史跡や祭事等を掲載した。

また、本年度も一回生を対象に来年度以降の講読・ゼミを決定する上での参考資料として、各ゼミに所属する学生の執筆による「講読紹介」を発行した。

◇青垣祭

昨年度に引き続き、青垣祭（学園祭）に出展した。本年度は「明治維新」のテーマで展示発表を行った。会場では明治維新期の日本をパネル・模型で紹介した。

また、これまでの明治維新についての研究をまとめたレジュメを作成し、来場者に配布した。十一月二日（土）から十一月四日（火）の三日間で延べ二〇〇人の来場者に来ていただいた。

ご協力いただいた方々には深くお礼を申し上げる次第である。

◇会員動向

○栗原麻子氏（西洋古代史担当）は、奈良大学海外短期研修旅費により、四月一日、Classical Association 第百回記念大会（於英国ヴォーヴィック大学）で研究発表をおこなった。

○青木芳夫氏（西洋近現代史担当）は、ケチュア語の紹介を中心とするホームページ「ラテンアメリカ資料センター」を開設した（<http://www.withe.ne.jp/~tunasimi>）。

平成十四年度史学科卒業論文題目

【日本史】

日本古代の留守について	青木 美幸	高市皇子殯宮に関する考察	三上真由子
律令制下における国博士について	有田 洋子	日本古代のチマタに関する考察	森 ゆかり
賢についての一考察	石井 透友	―万葉集から見たチマタ―	
―「大賢」と「御賢」表記について―		律令時代の食膳制について	吉野 恵美
律令制下における儒教的人格者の表旌	伊藤 匡芳	―太膳職・内膳司を中心に―	
律令軍団制の成立過程について	上田 修平	藤原四兄弟と天然痘の流行について	吉村 充生
罪と制裁に関する一考察	上田 哲平	古代軍事氏族に関する一考察	渡辺 直子
藤原京に関する一考察	内海 和典	―来目直・来目部について―	
―宮都造営をめぐる諸問題―		☆ ☆ ☆	
古代中央官衙における祭祀について	江良 裕美	御成敗式目と鎌倉時代の裁判	池田 武瑠
―宮内省奉斎園韓神についての一考察―		織田信長と家臣団についての一考察	尾下 純子
古代の疫病対策	小川 恵	―初期と末期の構成と特徴―	
蘇我氏の台頭	小原 達朗	中世後期の都市	垣内 康太
―主としてその発祥地についての考察―		―応仁の乱後の京都復興における町衆の自治・自衛―	
南島と律令国家	亀川 彰子	徳川家康の研究	鎌田 康治
律令制下における皇親について	児玉 絢子	―三河統一期の権力構造を中心に―	
城棚による東北支配と蝦夷	紺野 勇貴	分国法にみる中世法の流れ	神村 大史

氏と氏神における祭祀について 芝 史

―春日祭と藤原氏―

中世芸能民についての考察

木村 潤

瀬戸内海芸子地方の水軍について

松浦 裕次

―特に声聞師について―

武田信玄の研究

坂田陽一郎

龍造寺隆信について

松林 拓

―政治家としての面から見た領土維持―

本能寺の変について

坂本 昌隆

中世慣習法と御成敗式目について

村上 弘希

日本史中世における朝廷の権威について

高橋 広光

―慣習法の選択―

山崎 太二

流通面からみた中世日本の塩

田川 誠二

真田昌幸について

山崎 太二

―伊予国弓削島荘について―

興福寺の衆徒について

寺西 祐介

―その生涯と人物像―

石橋 夏子

応永の外寇における真相究明

長岡 俊太

近世における養生観の形成と展開

市川 裕子

永正の錯乱以降における細川庶子家の動向

西原 正洋

近世中期以降の大坂における新地の開発と都市形成

稲田 善夫

―典厩家・細川澄賢を中心素材として―

天文期以後の赤松氏分国支配

野間 克久

維新政府の成立と戊辰戦争の展開

井上 有貴

―発給文書にみる在地領主との関係―

後醍醐天皇と太平記

長谷 泰典

近世社会における盲人の動向

尾上由希子

三好政権の政治・軍事基盤について

平野 司

―盲人救済についての一考察―

喜名 香織

木沢長政について

廣江 正幸

大坂の橋とその文化

児島 寛

中世出雲地方における鉄の生産・流通・文化

福岡 大介

近世中期以降の伊丹酒造業の展開

児島 寛

―尼子氏・三沢氏の出雲鉄の掌握動向―

『三河物語』を通して見た近世初期の武士の生き方

鈴木 啓史

世界遺産原爆ドームの歴史的意義

森岡 花恵

近世後期における障害者と救済事業

長 奈保子

—世界に様々な核問題がある今、原爆ドーム保存といかに核廃絶にしていけるか—

『小梅日記』にみる幕末一庶民と情報

徳島 慶明

三井家の家業経営と家訓・店則について 矢津 聡子

江戸時代の救荒作物の普及活動について

中西 雅則

歌川国芳の戯画と民衆の動向にみる天保の改革批判について

田沼政権における経済政策の特質

中村 純

☆ ☆ ☆
山中 珠里

近世京都の観光都市化と京都文化

長澤 朋恵

☆ ☆ ☆
日本におけるスポーツ近代化への歩み 伊藤 大樹

参勤交代と藩財政

西垣 忠

明治維新後の会津藩士山川浩 入澤 英里

—鹿児島を例に—

伊予の農書『清良記』七巻について

西村 喜美

—「逆賊」から「將軍」へ—

横井小楠の開明思想

野村 祐子

網走刑務所囚人の中央道路建設 岩本 信淳

幕末・明治期の法隆寺における宝物観の展開

福山健太郎

—主に網走—北見間の道路工事について— 内海 大志

近世中期以降の奈良における観光開発について

藤田 薫

—戦後の合織メーカーの流行造りによるファッションの

外国人の見た近世大坂の町と人

松井 清佳

—現在の意義—

—オランダ商館付医師の江戸参府随行記録から—

享保期の米流通における幕府と商人

松本 真也

大正期の敦賀町政と大和田莊七 梅原 裕史

江戸における賭博の流行と幕府の対応

村上 一雄

—日露戦争講和反対運動と大阪— 大森 彰子

『東海道分間絵図』における絵図表現とその歴史的意義

森 みちる

幕末の奈良と明治維新 岡田 仁志

第五回内国勸業博覧会と大阪

御古 一茂

地方における初期社会主義運動の展開

安田 杏子

—誘致活動と開催準備をめぐる—

—福島県を事例として—

満州国憲法に関する一考察

木瀬 亮太

暴力団の歴史

山本 里志

戦前期における地方競馬についての一考察

小久保智大

—頂上作戦について—

米田 善紀

—公認競馬との比較—

戦争中における日本の医療制度

大山 晃広

大正期における社会政策思想

小西 哲郎

大阪大正期のウチナンチュについて

大山 晃広

—福田徳三のデモクラシー論—

—彼らはどうして出てこざるをえなかったのか？
—糖業と土地制度から考察する—

藩閥と軍艦の命名法との関係について

小林 俊晃

—文氏一族に見る茶の完成—

浅野 江美

「軍神広瀬中佐」説の時代による移り変わり

小山 朋恵

唐代における不老不死への努力

井上あゆみ

明治初期の民衆の動き

田頭 美歩

【東洋史】

—福山を中心に考察—

明代の文人文化における茶

小野真悠美

田原本町における近代産業と大正デモクラシー

津山 陽一

—障害を持つ人々に対する事業を中心に—

中澤 淳

—戦争責任と歴史教育—

—憲宗期について—

「従軍慰安婦」問題に関する一考察

長谷川優子

—唐長安城と環境問題

篠田 祐介

—戦前中期の衛生行政について

—近世の民間信仰と地域社会

杉井 奈月

近代における女性の髪型の変化と社会との関係

浜屋 充

—清代後期の北京における慈善事業について

鶴橋 典子

男性化粧史

古谷 多恵

—唐代皇帝の権力強化策について

中澤 淳

軍需港としての神戸に関する一考察

松本 千尋

—唐長安城と環境問題

杉井 奈月

宮内 良

宮内 良

—唐長安城と環境問題

杉井 奈月

宮内 良

宮内 良

—唐長安城と環境問題

杉井 奈月

宮内 良

宮内 良

—唐長安城と環境問題

杉井 奈月

宮内 良

宮内 良

—唐長安城と環境問題

杉井 奈月

唐王朝における祭典儀礼について

中津井誠也

則天武后と武周革命について

中野真理子

明代における中国と南方との関係

林 郁生

—鄭和の南海遠征と朝貢—

中国文化における龍

三木 貴雅

構成人物からみた蜀漢政權

水野 修藏

モンゴルの軍制における漢人

宮崎 信行

—漢人勢力の軍事的役割を中心に—

魏晋南北朝時代の江南社会

山野 修平

—ノスタルジアと隠遁思想から学ぶ「美意識」の所在—

☆ ☆ ☆

国家主席問題と林彪事件

久保 公郁

朝鮮における倭寇

礪波 順平

—十四世紀を中心に—

孫文の護法運動と裁兵について

長谷川世紀

太平天国と農民戦争

馬庭 吾一

アヘン流入への対応

三代 純司

【西洋史】

前五世紀におけるアテナイの帝国化

瀧井 修平

—デロス同盟結成時に「帝国化」の兆しを読みとる—

古代ローマの国家祭儀と外来宗教

榎谷 正義

古代エジプトにおける船舶文化

大島 貴之

デルフォイの神託

岡田 美穂

—神話・「歴史」から見る存在—

古代ギリシアにおける「神殿」と「社」の関わりについて

—パウサニアス『ギリシア記』を中心に— 田口 直人

前二千年紀後半のオリエント世界におけるフリ人の分布について

二ノ宮崇司

ヒクソスによるエジプト支配 藤永 一徳

—新王国時代におけるその歪曲について—

古代ギリシアの軍制の変遷について 松尾 桂太

—アテナイを中心に—

古代エジプトにおける墓造り労働者のくらし 森田 圭介

アレクサンドロス大王の東征で見るアケメネス朝ペルシア

の滅亡 山本 勝

☆ ☆ ☆

十六〜十七世紀のイギリスにおける魔女裁判について

小原 一起

レコンキスタについて

尾若 良子

中世西欧世界における兄弟団の変遷について

片山 泰宏

西欧における魔女裁判の変遷について

川口真紗代

ブルボン朝の盛衰について

篁 祐子

ネーデルラント共和国の成立について

高山 真一

第一回十字軍の起源とその性質

竹本 哲也

スコットランド王国の展開について

中村 康美

聖職叙任権闘争

廣江 求

大航海時代のスペインについて

南 真太

大航海時代におけるポルトガルの歴史的展開

村田 道代

フランス絶対王政の変遷について

山尾 典子

☆ ☆ ☆

イギリス産業革命期における民衆

阪井 友崇

—十九世紀の労働者階級とその運動を中心に—

鈴鹿 昭弘

グアテマラ内戦と先住民族

長井有希子

インカ帝国の滅亡について

能瀬 未央

能瀬 未央

中世トルコの中央集権体制の崩壊とその後の社会について

花房 浩輔

アステカ文明の世界観

宮崎三和子

—征服活動の原動力—

インカ帝国の拡張について

宮下 悦子

フランコ体制の長期化について

横道 豊

—国内要因から見て—

ロシア国内戦期における農民の動き

吉岡 賢一

平成十四年度大学院修士論文(史学関係)

中国の女神について

愛甲 直宏

—二郎神の成立—

中国の男色慣行と「家」の確立

大木祥太郎

—社会構造を創った性愛について—

中世瀬戸内社会の終焉について

松浦 暢久

—能島村上氏を事例として—

親王宣下制の成立

松本 大輔

後漢末軍閥考

吉田健太郎

—流民問題及び募兵制を中心に—

受贈雑誌及び図書
〔二〇〇二年一月
二〇〇三年一月〕

雑誌

- 愛大史学（愛知大学文学部史学科） 第二二号
愛知大学総合郷土研究所紀要 第四八輯
愛知大学博物館学芸員課程年報 第八号
愛知大学文学論叢 第一二七、一二八輯
青森県史研究（青森県史編纂室） 第七号
アカデミア（南山大学） 人文社会科学篇七五、七六号
アジア・アフリカ言語文化研究（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所） 第六四―六六号
アジア研究所紀要（亜細亜大学アジア研究所） 第二九号
アジアフォーラム（大阪経済法科大学アジア研究所） 第三二―二五号
アジア文化学科年報（追手門学院大学文学部アジア文化学科） 第五号
アジア文化史研究（東北学院大学大学院文学研究科アジア文化史専攻） 第三号
AZUR（成城大学フランス語フランス文化研究会） 第三号

岩手史学研究（岩手史学会） 第八六号

宇大史学（宇都宮大学史学研究会） 二〇〇二・二〇〇三年号

エウローパー（成城大学大学院文学研究科ヨーロッパ文化専攻） 第二二号

鴨台史学（大正大学史学会） 第三号

鷹陵史学（鷹陵史学会） 第二九号

大分県立歴史博物館研究紀要 第四号

大谷大学史学論究（大谷大学文学部史学科） 第八号

お茶の水史学（読史会） 第四六号

海南史学（高知海南史学会） 第四一号

学習院大学史料館紀要 第一二二号

漢学研究通訊（漢学研究センター） 第八四―六期

紀尾井史学（上智大学大学院史学専攻院生会） 第二二号

岐阜史学（岐阜史学会） 第九九、一〇〇号

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要 史学編 第二号

京都市歴史資料館紀要 第一九号

京都橘女子大学研究紀要 第二八、二九号

キリスト教史学（キリスト教史学会） 第五七集

熊本史学（熊本史学会） 第八〇―八二号

ぐんま史料研究（群馬県立文書館） 第二〇号

元史及民族史研究集刊（南京大学民族研究所） 第一四、

一五輯

神戸大学史学年報（神戸大学史学研究会） 第一七、一八

号

堺研究（堺市立中央図書館） 第三二号

史苑（立教大学史学会） 第六三卷第一号、二号

史園（園田女子大学歴史民俗学会） 第四輯

史学（三田史学会） 第七一卷第四号、第七二卷第一、二

号

史学研究集録（國學院大學大学院日本史学専攻大学院会）

第二八号

史観（早稲田大学史学会） 第一四八、九冊

史聚（史聚会） 第三四、三五号

史泉（関西大学史学・地理学会） 第九七、九八号

史岬（日本女子大学史学会） 第四二、四三号

史窓（京都女子大学史学会） 第六〇号

四天王寺国際仏教大学紀要 平成一四年度

社会科学研究（中央大学社会科学研究所） 第三三卷一、

二号

史友（青山学院大学史学会） 第三五号

就実女子大学史学論集 第一七号

秋大史学（秋田大学史学会） 第四九号

上智史学（上智大学史学会） 第四七号

昭和のくらし研究（昭和館） 第一号

史料館研究紀要 第三四号

史論（東京女子大学読史会） 第五六号

神女大史学（神戸女子大学史学会） 第一九号

信大史学（信大史学会） 第二七号

人文論集（静岡大学人文学部） 第五三号二冊、第五四号

一冊

人文論集（東京都立大学） 歴史学編第三二号

スペイン史研究（スペイン史学会） 第一五一―一七号

住友史料館報 第三四号

西洋古代史研究（京都大学大学院文学研究科西洋史研究室）

第三号

西洋史学報（広島西洋史研究会） 第三〇号

西洋史論集（北海道大学文学部西洋史研究室） 第六号

西洋史論叢（早稲田大学西洋史研究会） 第三三、二四号

専修史学（専修大学歴史学会） 第三四号

創価大学人文論集 第一五号

双文(群馬県立文書館) 第二〇号

高円史学(高円史学会) 第一九号

橘史学(京都橘女子大学歴史文化学会) 第一七号

近松研究所紀要(園田女子大学近松研究所) 第一三三号

千葉史学(千葉歴史学会) 第三九―四二号

中央史学(中央史学会) 第二五、二六号

中国水利史研究(中国水利史研究会) 第三〇号

津田塾大学国際関係研究所報 第三七号

敦賀論叢(敦賀短期大学) 第一六、一七号

帝京国際文化 第一六号

帝京史学(帝京大学文学部史学科) 第一八号

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要 第四号

東海史学(東海大学史学会) 第三七号

東京大学日本史学研究室紀要 第七号

東洋史苑(龍谷大学東洋史学研究会) 第五八号―六〇

六一号

東洋史訪(兵庫教育大学東洋史研究会) 第九号

東洋大学文学部紀要 史学科篇 第二八号

東洋文化研究(学習院大学東洋文化研究所) 第五号

徳川林政史研究所研究紀要 第三七号

富山県立山博物館研究紀要 第一〇号

富山市日本海文化研究所紀要 第一三、一五号

長野県立歴史館研究紀要 第九号

名古屋大学比較人文科学研究年報 第一・二集

七隈史学(七隈史学会) 第四号

奈良学研究(奈良学学会) 第六号

寧楽史苑(奈良女子大学史学会) 第四七号

奈良歴史研究(奈良歴史研究会) 第五八、五九号

新潟県立歴史博物館研究紀要 第四号

新潟史学(新潟史学会) 第四九号

二松(二松学舎大学大学院文学研究科) 第一七集

二松学舎大学東洋学研究所集刊 第三三三集

二松学舎大学論集 第四六号

日本学研究所(金澤工業大学日本学研究所) 第六号

日本研究(国際日本文化研究センター) 第二六、二七集

日本思想史研究(東北大学文学部日本思想史学研究室)

第三四号

日本文化史研究(帝塚山大学日本文化史学会) 第三五号

日本モンゴル学会紀要 第三三三号

日本歴史学協会年報 第一八号

年報日本史叢(筑波大学歴史・人類系) 二〇〇一、二〇〇二

〇二

白山史学(白山史学会) 第三九号

東アジア研究(大阪経済法科大学アジア研究所) 第三五、三六号

三六号

兵庫教育大学研究紀要 第二三卷第二分冊2

兵庫のしおり(兵庫県県政資料館) 第五号

弘前大学国史研究(弘前大学国史研究会) 第一一四号

広島東洋史学報(広島東洋史学研究会) 第七号

福岡教育大学紀要 第五二号第二分冊社会科学篇

仏教大学総合研究所紀要 第一〇号

仏教大学文学部論集 第八七号

法政史学(法政大学史学会) 第五八号—六〇号

北大史学(北京大学出版社) 第八、九号

北大史学(北大史学会) 第四二号

北陸史学(北陸史学会) 第五一号

御影史学論集(御影史学研究会) 第二八号

三井文庫論叢 第三六号

宮城県多賀城跡調査研究所年報 二〇〇二

民具マンスリー(神奈川県日本常民文化研究所) 第三四

巻第六号—第三五卷第一二号、第三六卷第一—六号

明代史研究(明代史研究会) 第三一号

明大アジア史論集(明治大学東洋史談話会) 第九号

山口県史研究(山口県史編纂室) 第一一号

ヨーロッパ文化史研究(東北学院大学院文学研究科)

ヨーロッパ文化史専攻) 第四号

横浜商大論集 第三六卷第一・二号、三七卷一号

米沢史学(米沢史学会) 第一七—一九号

洛北史学(洛北史学会) 第五号

立教大学日本学研究所年報 第二号

立正史学(立正大学史学会) 第九二、九三号

龍谷史壇(龍谷大学史学会) 第一一九・二〇号

歴史(東北史学会) 第一〇〇、第一〇一輯

歴史研究(愛知教育大学歴史学会) 第四九号

歴史人類(筑波大学歴史・人類系) 第三一号

歴史と地理 第五五八—六八号

和菓子(虎屋文庫) 第一〇号

図書

愛知大学総合郷土研究所所蔵資料図録Ⅱ

尼子氏関係史料調査報告書（広瀬町教育委員会）

生駒市古文書調査報告書Ⅰ 北地区（高山町・鹿畑町・上町）（生駒市教育委員会）

SOSふるさとの文化財をすくえ（長野県立歴史館）

近江国堅田居初家文書 第二巻 船道仲間諸色留帳二（居初家文書調査団）

学習院大学国際シンポジウム「歴史を守り記憶を伝える――

二一世紀アジアのアーカイブズとアーキビスト」報告および討論の記録（学習院大学）

学習院大学蔵朝鮮戸籍大帳等目録（武田幸男編 学習院大学東洋文化研究所調査報告五二）

旧御願村篋惣一氏文書二（伊丹市立博物館史料集）

旧植民地関係資料画像データベース 朝鮮篇（滋賀大学経済経営研究所）

共同浴の世界（印南敏秀著 愛知大学総合郷土研究所ブックレット五）

暮らしのなかの技術と芸能（神奈川大学日本常民文化研究所調査報告 第一九集）

群馬県行政文書件名目録 第一四集 大正期学務編Ⅳ（群馬県立文書館）

群馬県立文書館

群馬県立文書館収蔵文書目録二一 群馬・高崎地区諸家文書一（群馬県立文書館）

源氏物語と和菓子展（虎屋文庫）

皇室制度史料 儀制 成年式一（宮内庁書陵部編、吉川弘文館）

堺市博物館蔵米屋甚兵衛家文書調査報告書（堺市博物館）

佐草家文書目録（高根県古代文化センター調査報告一八）

持続可能な社会と共生思想に関する予備的研究（仏教大学総合研究所紀要別冊）

鷹峰村文書目録（藤井讓治・岩崎奈緒子編 京都大学総合博物館）

多賀城跡―発掘の歩み（宮城県多賀城跡調査研究所）

多賀城関連遺跡発掘調査報告書二八 亀岡遺跡Ⅰ

朝鮮後期の慶尚道における社会動態の研究（武田幸男編 学習院大学東洋文化研究所調査報告五一）

哲学から信仰・宗教を見る―哲学類型と信仰類型（小川弘著 あずさ書店）

東南アジアにおける人の移動と文化の創造 論集二（宮崎

恒二編 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究

所）

富山壳葉の旅先における配葉の実態（兼子心著 富山県立

山博物館）

豊橋三河のサルカニ合戦（沢井耐三著 愛知大学総合郷土

研究所ブックレット六）

新島村史 資料編Ⅲ 新島島役所日記（新島村）

新島村史 資料編Ⅳ 新島島役所日記 天保年間（新島

村）

日本史学文献目録（朋文出版）

日本歴史学協会五十年史

日本歴史学協会年報別冊 歴史教育シンポジウム記録集

豊後国安岐郷の調査 資料編（大分県立歴史博物館）

法然浄土教の総合的研究（仏教大学総合研究所紀要別冊）

三河地方知識人資料（田崎哲郎編 愛知大学総合郷土研究

所研究叢書一六）

三井文庫所蔵史料第九集 一件書類目録（京・江戸・大坂

両替店等原所蔵分）（三井文庫）

毛利元就文書の基礎的研究（平成一一—一四年度科学研究

費補助金基盤研究B研究成果報告書、研究代表者秋山伸

（隆）

山形県立博物館収蔵資料目録 歴史資料目録Ⅲ（山形県立

博物館）

「和菓子からWAGASHIへ」展（虎屋文庫）